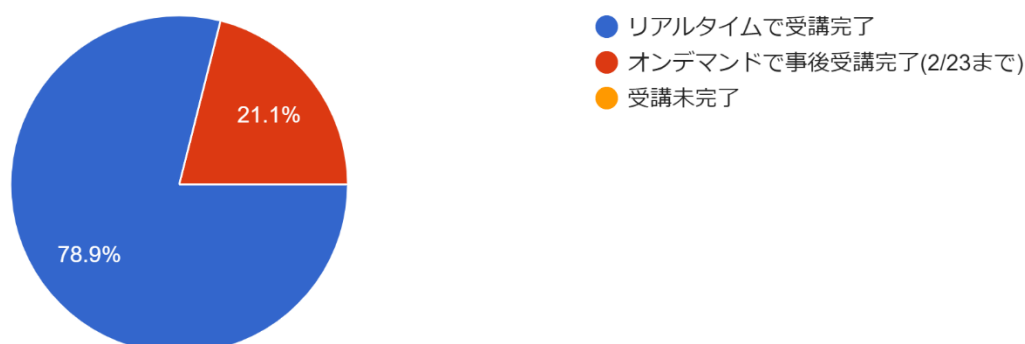
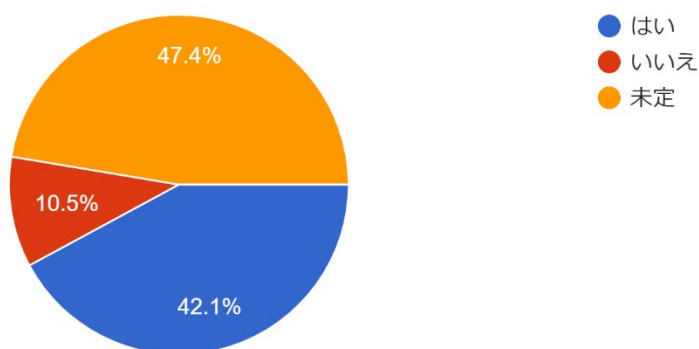


藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
第3回(2023/02/18) 皆さんのデジタルアーカイブ/地域学習企画披露会
受講報告(19名の回答)

▼受講形態



▼「地域アーカイブサロン」への参加希望



▼ご意見、ご質問等

◆3回の講義を通じて、最前線で活躍されている方々のお声を聞けてとても勉強になりました。貴重な機会を頂き感謝しております。ありがとうございます。

◆公開したデジタルアーカイブの継続を制作した人が何とか守る算段をしなくてはいいと今まで考えていましたが、次の担い手を育てて繋げたり、新しいサービスに身軽に乗り換えたりすると良いという案を初めてお聞きしました。メタデータをシンプルにして沢山アーカイブを作るのが良いという話がありましたが、シンプルにするのが良いという意味

がわかりませんでした。フィギュアスケートの方がどんな衣装を着ていたかをメタデータに入れると仰っていましたが、衣装の画像をデータとして入れるにはどのような方法があるのか知りたかったです。取り扱う資料の専門家ではない場合、どのような検索語を付けたら良いか考えるのは難しいです。講座の中では図書館で使う十進分類法の話が出て来ましたが、利用者が希望の資料に辿り着きやすくするために、他の皆さんはどんな方法を使っていらっしゃるのか知りたかったです。

◆SNS はやっておりますが、可能であれば何らかのかたちで「地域アーカイブサロン」にも参加できれば嬉しく存じます。

◆準デジタル・アーキビストの講習を受けたいです。

◆12月とあわせて大変貴重な講座をありがとうございました。今後もときどき相談などさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◆個人の家系図データでも、デジタルコモンズを活用できますか？

◆講座を開催していただきありがとうございました。とても参考になりました。

◆今後も継続して当講座の開催を希望します。職員の配置換え等で今回受講した芹沢、村松がDA化に関われなくなっても計画が頓挫しないように、職員の意識を改革していきたいです。また、今後もアドバイス等いただけたらと思うのですが、講座が終わってもご連絡させていただいてよろしいでしょうか。

◆残念ながら3月の発表については期間が短く、年度末ということもあり進捗報告ができるころまでいかないと思われます。その場合は視聴参加のみでもよいでしょうか。また、機屋群のデジタルアーカイブを作るにあたり、d-commons を利用させていただくことは可能でしょうか。